

お月見^{つきみ}を^{たの}楽しんでみませんか?

あき ぎょうじ つきみ きゅうれき がつ にち じゅうごや ちゅうしゅう
秋の行事といえば「お月見」です。旧暦の8月15日の十五夜は「中秋の
めいげつ よ よぞら う つき しゅうかく かんしゃ いわ
名月」と呼ばれ、夜空に浮かぶ月をながめながら、収穫に感謝してお祝い
ふうしゅう ことし じゅうごや きょう がつ にち ちゅうしゅう めいげつ
する風習があります。今年の十五夜は今日、9月17日です。中秋の名月
べつめい いもめいげつ りょうり た
は、別名で「芋名月」ともいい、さといもをおそなえしたり、さといも料理を食
しゅうかん つきみ か こめ つく
べたりする習慣があります。また、お月見に欠かせないのが、お米から作る
つきみ ちいき こと まんげつ み た まる かたち
月見だんごです。地域によって異なり、満月を見立てた丸い形やさといも
かたち
の形のものなどさまざまです。
きょう きゅうしょく まんげつ ほし かたち つきみ はい つきみ
今日の給食は、満月や星の形のゼリーや月見だんごが入ったお月見フ
しらたま に つきみ あじ
ルーツ白玉やさといものそばろ煮のお月見メニューです。よくかんで、味わ
た
って食べてくださいね。

